

5. 使用済燃料プールの満杯による原発停止に伴うコスト

■ 日本原燃株式会社



<代替火力コストの計算式>
算定ケース2 (既設LNG+石油)

・代替火力発電コスト計算式

$$\left\{ \frac{\text{石油火発 (変動費)} + \text{LNG火発 (変動費)}}{2} \right\} - \left\{ \frac{\text{原子力発電単価 (変動費)}}{\text{}} \right\} \times \text{喪失電力量}$$

・CO2排出増に伴う対策コスト

$$\left\{ \frac{\text{石油火力CO2原単位} + \text{LNG火力CO2原単位}}{2} \right\} \times \text{喪失電力量} \times \text{排出権取引単価}$$

○単価等の設定・・・コスト等検討小委員会による提示データを用いる

5. 使用済燃料プールの満杯による原発停止に伴うコスト

■ 日本原燃株式会社



<代替火力コストの計算式>

算定ケース3 (新設考慮)

焚き増し及び新設火力にて対応する場合は
喪失電力量Aを毎年度、喪失電力量のうち予備率までとし、
喪失電力量Bは全喪失電力量ー喪失電力量Aとする。

・代替火力発電コスト計算式

$$\left\{ \frac{\text{石油火発 (変動費)} + \text{LNG火発 (変動費)}}{2} \right\} - \left\{ \frac{\text{原子力発電単価 (変動費)}}{\text{}} \right\} \times \text{喪失電力量 A}$$

$$+ \left\{ \frac{\text{新設石炭火発} + \text{新設LNG火発}}{2} \right\} - \left\{ \frac{\text{原子力発電単価 (変動費)}}{\text{}} \right\} \times \text{喪失電力量 B}$$

・CO2排出増に伴う対策コスト

$$\left\{ \frac{\text{石油火力CO2原単位} + \text{LNG火力CO2原単位}}{2} \right\} \times \text{喪失電力量 A}$$

$$+ \left\{ \frac{\text{石炭火力CO2原単位} + \text{LNG火力CO2原単位}}{2} \right\} \times \text{喪失電力量 B}$$

$$\times \text{排出権取引単価}$$

○単価等の設定・・・コスト等検討小委員会による提示データを用いる。